

ひたちなか市教育委員会会議録

平成27年 第15回 ひたちなか市教育委員会11月定例会 会議録					
平成27年11月5日	開会 午後2時00分	閉会 午後3時40分			
○場 所	東石川小学校 多目的室				
○出席委員	教育長 木下 正善	委 員 小田島 俊夫	委 員 石田 厚子	委 員 沓澤 久美子	
○欠席委員			委 員 西野 信弘		
○会議に出席した構成員	補 職 名		氏 名	出・欠	
	教育次長		根本 宣好	出席	
	総務課長		岩崎 龍士	出席	
	参事（教育担当）		廣瀬 佳久	出席	
	参事兼指導課長		関口 拓生	出席	
	施設整備課長		澤畠 恵一	出席	
	学務課長		箱崎 勝子	出席	
	青少年課長		堀江 貴美代	出席	
	中央図書館長		大和田 雅一	出席	
	○事務局員	総務課係長		狩谷 智則	出席
		総務課主幹		黒澤 一彦	出席
		総務課主事		小野寺 優	欠席
	○議 事				
1 教育委員会 事業報告	議案第27号	ひたちなか市立学校（幼稚園）の学校（幼稚園）薬剤師の委嘱について【公開】			
2 その他	（1）	9月定例会市議会における教育委員会関係質問について【公開】			
	（2）	平成28年度重点施策（案）について【公開】			

平成27年第15回ひたちなか市
教育委員会11月定例会会議録（概要）

開会 14:00

教育長 （あいさつ、開会の宣言）

教育委員会事業報告（1）いじめ問題対策連絡協議会等の設置について

指導課長 いじめ問題対策連絡協議会等の設置について、ご説明いたします。

平成26年2月26日に策定しました「ひたちなか市いじめ防止基本方針」において、本市が実施する施策として、いじめ問題連絡協議会及びいじめ問題調査委員会の組織を設置し、このうち前者については各学校のいじめ防止等の対策を支援する旨を定めております。同協議会は、委員17名をもって組織し、その内訳は教育委員会関係者のほか、学校・保護者関係として校長会代表、市PTA連絡協議会代表、市子ども会育成連合会代表、市青少年相談員代表、法務・福祉等の機関関係として警察署や人権擁護委員の代表、市福祉事務所（児童福祉課）の代表、という以上の方々に委員になっていただくことで考えております。

また、会議の進め方については、会長は教育長、副会長は教育長職務代理者にそれぞれお願いするとともに、会議は年2回（8月、1月）開催とするほか、重大事態が発生した場合など必要に応じ会長が招集し、会長が会議の議長となる、といった仕組みで考えておりますが、正式には第1回会議にて承認いただく形で進めたいと思っております。

第1回会議は来年1月開催を予定しております。協議内容としては、①本市のいじめ認知件数について、これは今年9月から各学校より毎月報告いただいておりますので、それについてご報告いたします。また②本市のいじめ防止の取組、各学校の取組について、ここでは各学校で取り組んでいる状況のほか、中学校笑顔サミットなど市全体として取り組んでいる内容について、話題にしていきたいと考えております。③課題解決のための方策等について、ここでは①、②でいろいろ課題がさらに見えてきた場合には、その対応策について意見を出しあい、そこでまとめた対応策については学校で具体的に取り入れられるよう進めたいと考えております。

以上がいじめ問題対策連絡協議会の流れとなりますが、ここで先ほどご説明した協議会の構成について、1つご相談したいことがございます。当初作成した委員構成案では、教育委員の方全員がメンバーとなっておりますが、このの

部分について、各部門の代表という考え方もありますので、教育委員の方全員メンバーに入っていた方がよいのか、あるいは代表の方1名に参画していただく形がよいのか、についてご意見いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【質疑、意見等】

教 育 長

このいじめ問題対策連絡協議会は、先ほど説明がありましたように年2回の開催を予定しておりますが、このほか必要に応じて開催することとなっております。この会議は、重大事態になったから開催されるものではなく、いじめに関係する様々な課題等があるなかで、その課題をどう解決していくか、またいじめの顕在化というものがどういう状況にあって、どういういじめが発生するか、といった情報交換、さらには今後の課題への対応ということで、様々な立場の方からご意見をいただき、前向きな対応方法を模索していこうとするものでございます。教育委員の方々には、そういった会議であることを踏まえたくえで、会議の構成員には教育委員の方全員に入っていた方がよいのか、代表の方1名に参画していただく形がよいのか、についてご意見いただければ、と思います。

小田島委員

いじめ問題というのは、いじめと思料される事件・事故が起こった時、教育委員会の中でも十分な対策を練っていかなければならない重要なものである、という認識はあるわけですし、いじめ問題対策連絡協議会に参加することによって、いじめ問題に関する報告を聞くだけではなく、学校代表の先生方、青少年相談員の方、警察関係の方などから貴重な意見や情報をいただけると思いますので、私としては教育委員の立場として参加した方がよいのではないかと、思っております。

石 田 委 員

私も会議の場でいろいろな意見を聴くことができるので、参加した方がよいと思っております。因みに、この会議に学校の生徒指導担当の先生は出席されますか。また、その先生は、市内全校の生徒指導のリーダー的立場の先生ですか。

指 導 課 長

各学校に生徒指導主事の教諭はおりますが、この会議の構成員になっているのは、（各学校の生徒指導担当をまとめている）校長会の生徒指導担当の校長2名（小学校、中学校）となっております。

石 田 委 員

校長会代表、というのはそういう意味ですね。わかりました。

沓 澤 委 員

（子どもたちが取り組んでいるいじめ防止のための取組である）中学生サミットの方も見学させていただいておりますし、身近な問題でありますので私としては参加したいと思っております。

教 育 長

只今、ご意見いただきましたとおり、教育委員の方々はそれぞれ会議に参加されることに、特に問題はない、ということでございますので、指導課が提案

する委員17名の構成で、進めさせていただきたいと思います。このほか、本件に関して何かご意見等ございますでしょうか。

(意見等, 特になし)

その他(1) 研究推進校事業研究発表会等について

指導課長

研究推進校事業研究発表会等について、お知らせいたします。

まず、研究推進校事業研究発表会ですが、11月20日(金)平磯中学校において開催されます。同校では平成26・27年度の2年間、研究推進校の指定を受け、その間電子黒板やタブレット端末などICT機器を活用した授業研究に取り組んできております。前回の研究発表会は佐野小学校で行われましたが、今回はさらに中学校バージョンにした、工夫ある授業が見られることと思います。

また、12月25日(金)にはワークプラザ勝田におきまして、教育研究発表会を開催いたします。今回は、(健全な学級づくりのための学級診断に活用させていただいている)Q-Uの創始者であります河村茂雄先生をお招きしてご講演いただくほか、専門研究会において2年間取り組んできたICTについての研究成果発表も行われる予定となっております。

さらに、来年2月頃には磯崎小学校におきまして、研究推進校事業研究発表会が開催される予定です。こちらは日程が決まり次第、お知らせしたいと思います。

以上が、今年度下期に開催される指導課の事業(研究推進校事業研究発表会等)になります。教育委員の皆様方には、是非ご覧いただき、改善点等があればアドバイスいただくと幸いです。よろしくお願いいたします。

【質疑, 意見等】

小田島委員

平磯中学校でICT機器を活用した授業発表が行われる、とのことですが、タブレット端末の台数はかなりたくさん用意したのですか。

指導課長

いえ、6台です。前回の研究発表会ではICT機器を活用することで興味や関心が高められる、といったところが主な理由だったのですが、今回の取組では、画面を見ながら話し合うことで、それぞれの考えを出し合うような学習活動に変わっておりますので、それを実践することで更に理解が深まる、といったところをねらいにした授業を展開しております。特に中学生の場合だと、いろいろな思考過程が違ってくることがありますので、それができるだけ見える形で、子どもたちがお互いに理解し合うような授業がみられるかと思っております。

その他（２）旭化成建材が関わった杭工事について

施設整備課長

現在、マスコミ等で取り上げられております、旭化成建材がかかわった杭工事について、今回調査対象となっているのが過去10年までのものとなります。杭の種類が、横浜のマンションで問題となりました鉄筋コンクリート造の杭についての調査ということで、本市においては、佐野小学校にある平成16～17年に建築された校舎が該当しております。このため、10月28日、施設整備課職員と管財課職員（当時の担当職員）計3名で現場を調査してまいりました。

調査の結果、柱や梁にひび割れは認められませんでした。昇降口内壁に幅0.2mm程度のひび割れが1箇所、外壁に0.2mm程度のひび割れが4箇所認められましたが、内壁・外壁タイルの剥離は認められませんでした。また、内部・外部のエキスパンジョイントカバーについてはずれ等の異常は見られず、建具の開閉不調、隙間等も認められませんでした。さらに建物周りの叩きと建物際のひび割れも認められませんでした。11箇所で建物の傾きについて計測したところ、最大で1000分の5程度の傾きが見られましたが、この数値は現場を施工する際の施工誤差程度であることから、結論としまして、「建物全体の傾きではないと考えられる」という報告をしたところです。

新聞報道等で10月30日発表されたことで、佐野小学校の保護者の方々が心配されると思われましたので、保護者宛ての文書（前述の現地調査の結果）を作成し、学校を通じて配布依頼いたしました。

【質疑、意見等】

石田委員

なぜ調査対象が過去10年という形で区切られているのですか。

施設整備課長

恐らく、旭化成建材で横浜のマンションの杭工事を担当した現場代理人が、その職に就き始めたのが10年前ではなかったか、と思われま

小田島委員

旭化成建材で問題とされている担当者の方が工事を担当したのか、についてもわからない状況ですか。

施設整備課長

それは担当していないと思います。今回現地調査で見られたひびは、東日本大震災によるものかと思われま

教育長

0.2mm程度のひび割れについては、どのくらいの程度だと心配なのか。

施設整備課長

2mm以上と考えます。

教育長

タイルというのは非常に脆いように感じるが、東日本大震災でも内装タイルに剥がれはなかった。何か特別の素材を使っているのか。

施設整備課長

現在使用されているモルタルはかなり性能がよくなっておりますので、タイル自体剥がれることはないのですが、壁と壁の角の部分はひびが入りやすいです。佐野小学校の場合、この部分でさえ、ひび割れは認められなかったもので、ほとんど問題ないかと思いま

小田島委員

建物の傾きについて1,000分の5は施工誤差程度、との説明がありましたが、

危険だと判断する傾きとはどの程度ですか。

施設整備課長

10mm以上です。

教 育 長

現在のところ、学校や保護者の方々から問合せ等はありませんか。

施設整備課長

今のところございません。

教 育 長

(暫時休憩の宣言)

* 暫時休憩の後、東石川小学校と懇談を行いました。

閉会 15 : 40